

LASBOS

海や生き物を学ぶオンライン教育システム

水産学部では、海や生き物を学ぶオンライン教材を集めたサイト「LASBOS」(=Learning and Study by Balance de Ocean System)を立ち上げました。動画コンテンツはLASBOS YouTubeから、サイト形式はLASBOS Moodleから。「北極の海」「練習船の調査」「SDGs」「卒業生の活躍」

ラスボス 北大 🔍 検索

SNS

新着情報やおすすめ
コンテンツを紹介



「水産学部の各学科」など、テーマで分類しています。本格的な学術情報から、気楽に楽しめるコンテンツまであります。高校生の皆さまには「いつでもオープンキャンパス」が必見。動画教材は、LASBOS YouTubeから発信しています。ログイン不要で、どなたでもご利用いただけます。

LASBOS YouTube



水産学部の学科紹介や実験や実習の様子を動画で覗いてみましょう！

おすすめ LASBOS YouTube



水産学部
学科紹介



LASBOS YouTube



ウニの解説



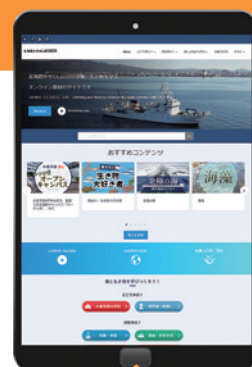
在学生の活躍紹介

LASBOS Moodle (Webサイト)



水産学部ではどんな研究ができるのか？ 研究紹介・研究手法のコースが参考になります。

おすすめ LASBOS Moodleコース



LASBOS Moodle



函館マリカルチャープロジェクト

【内閣府：地方大学・地域産業創成交付金事業】

北海道大学水産学部及び地域水産業共創センターは函館市と連携し、魚類養殖により排出されるCO₂を海藻養殖により吸収する「地域カーボンニュートラル」養殖産業という新たな産業の創出や、産業を牽引する若手人材の育成に寄与する取組を実施しています。具体的には、キングサーモンとマコンプの完全養殖技術の開発を進めるとともに、地域の将来を担う人材を育成するためのCREEN人材育成プログラム、ノルウェーなどの養殖に関するトップレベル人材を招へいして研究・教育を行う事業などを実施しています。また「函館をもっと良いまちに！プロジェクト」という、函館市内の学生がサークルのような活動で函館をより魅力的な街にするための企画の支援も行っています。



養殖試験中の生け簀内を泳ぎ回るキングサーモン



「函館をもっと良いまちに！プロジェクト」
函館市内の学生団体ISARIBI withによる地域活性化活動

ハワイ大学との交流実習

【寄附分野 上廣海洋学分野】

フィールド実習と国際交流による教育を展開

上廣海洋学分野は、公益財団法人 上廣倫理財団のご篤志により設置され、持続可能な社会の実現に向けて活躍できる人材育成を目指しています。実習では、北海道大学とハワイ大学の双方から学生を受け入れ、両大学の特色を生かしたプログラムを体験します。これにより、水産学部生や大学院生がハワイ大学の学生と共に実体験を通じて海洋環境を理解し、海洋学の視点を身につけます。



サラマ湖の実習において海水に観測用の孔を開けている様子



ハワイ大学のサンゴ礁に関する実習での潜水調査

共創教育

企業との協働による人材育成等

水中・空中ドローンの利用が、漁業や港湾管理、海洋建築で注目されています。水産学部でも研究利用が進んできました。現場の誰もがドローンパイロットに！大学と企業がコラボして、奥尻島や木古内などのフィールドでドローン講習会が開かれています。



▲奥尻高等学校の潜水実習に同行し
空中・水中ドローンで撮影



◀木古内町での
空中ドローン講習会

紹介動画をみる



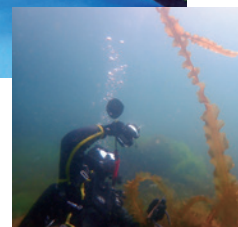
潜水実習

ダイビングライセンスの取得が可能

水産学部全学科の3年生以上では、潜水調査実習の授業（選択）があります。座学、学外のプール、海でSCUBAダイビングの初歩的な技能を身につけます。潜水の技能証明書（Cカード）を取得した後は安全潜水について皆で議論します。



授業担当：秋田先生より
「潜水事故をゼロに。安全に無事故で潜水調査できるための技術と知識を身につけましょう。」



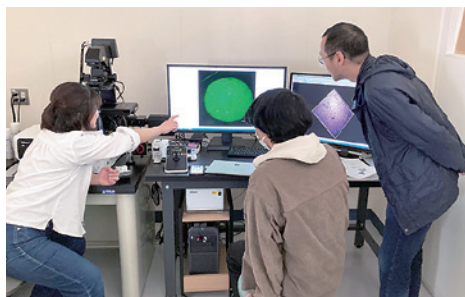
海洋生物科学科・海洋資源科学科
秋田 晋吾 准教授

鰭(ヒレ)から魚を創る

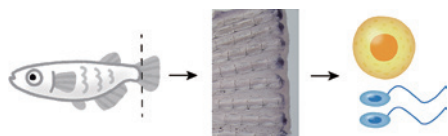
【科学技術振興機構】

創発的研究支援事業

魚の鰭(ヒレ)の細胞から精子と卵の元となる生殖細胞をつくり、個体再生させることに挑戦しています。この方法が確立されれば、精子や卵の採取が困難な魚においても育種や遺伝資源の保存、絶滅危惧種の再生がヒレだけで実現できる可能性があります。スーパーで売っている美味しい魚のヒレからも、魚を増産できる日が来るかも！？



研究風景。
顕微鏡で撮影した生殖細胞の画像について議論している様子。



切り取った魚のヒレから卵と精子作りに挑戦しています。



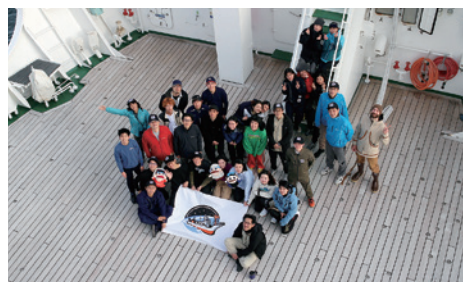
増殖生命科学科
西村 俊哉 准教授

北極域研究強化プロジェクト

【文部科学省】

ArCS III: Arctic Challenge for Sustainability III

ArCSⅢは、国立極地研究所、海洋研究開発機構、北海道大学の3機関が中心となって実施する、我が国の北極域研究のナショナルフラッグシッププロジェクトです。水産学部は、「北極域の生物多様性の将来予測と保全に向けた科学的基盤の確立」および「北極沿岸地域の雪氷・海洋・生態系の変化から探る環境・社会システムの持続可能性」の両テーマで中心的な役割を果たしています。水産学部生や水産科学院生が、おしよ丸や他機関研究船による北極海観測、北極の海水域での野外観測、冬季サロマ湖での氷上観測などに参加して、北極域の環境変化や生態系を調べる研究を進めています。



おしよ丸北極航海における集合写真
(2023年7月北極海にて、上野洋路撮影)



海洋資源科学科
上野 洋路 教授